

2月

1 / 日曜

レムナントがかならず
学ばなければならないことがあります

申 6:4~9 | 私がきょう、あなたに命じるこれらのことばを、あなたの心に刻みなさい。これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えなさい。(6~7)



1. まず知らなければならないことがあります

- (1) 出エジプトの意味を知らなければなりません(出 3:18)
- (2) 三つの祭りの意味を知らなければなりません(出 23:14~19)
- (3) 契約の箱の意味を知らなければなりません

マナを入れた壺の意味を知らなければなりません(民 11:9)

十戒の石の板の意味を知らなければなりません(出 20:1~26)

アロンの芽が出た杖の意味を知らなければなりません(民 17:1~11)

2. 契約が私たちの中に根をおろして、かならずまことの生活を味わわなければなりません(申 6:4~9)

- (1) 家でも
- (2) 道でも
- (3) 寝るとき、起きるときにも
- (4) しるしとして結びつけて
- (5) 額の上につけて、記章として
- (6) 門柱に書き記し
- (7) 外側の門に書き記して契約が私たちの中に根をおろすようにしなさいと言われました

3. イスラエルの失敗を繰り返してはいけません

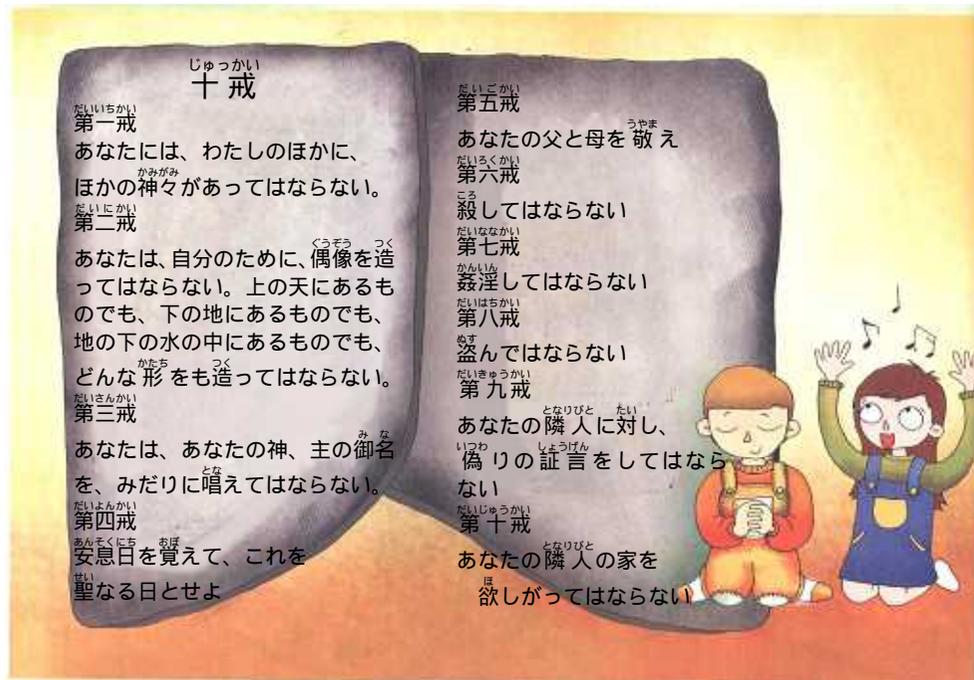
- (1) 福音の根をおろしてこそ、福音の実ができます
- (2) 福音の実ができてこそ、力が現れます
- (3) 福音の力が現れてこそ、暗やみの勢力が崩れます

2月

8/日曜

十戒は、荒野の最高の
みことばです

申 5:13 ~ 21 | あなたは、自分がエジプトの地で奴隷であったこと、そして、あなたの神、主が力強い御手と伸べられた腕とをもって、あなたをそこから連れ出されたことを覚えていなければならない。それゆえ、あなたの神、主は、安息日を守るよう、あなたに命じられたのである。(15)



1. 十戒の中に2つの大きな意味が入っています

- (1) 十戒の中には神様の愛が入っています
 神様以外の他の神々があってはならないとおっしゃいました(申 5:7)
 偶像を作ってはならないとおっしゃいました(申 5:8)
 主の御名を、みだりに唱えてはならないとおっしゃいました(申 5:11)
 安息日を守りなさいとおっしゃいました(申 5:12)
- (2) 十戒の中には、人間の愛が入っています
 両親を敬えとおっしゃいました(申 5:16)
 人を殺してはならないとおっしゃいました(申 5:17)
 姦淫してはならないとおっしゃいました(申 5:18)
 盗んではならないとおっしゃいました(申 5:19)
 偽証してはならないとおっしゃいました(申 5:20)
 隣人のものを欲しがってはならないとおっしゃいました(申 5:21)

2. 十戒の中には大きな教訓が入っています

- (1) 他の神を拝んだり仕えたりしてはならないとおっしゃいました
 サタンは人間を誘惑して神様を離れるようにさせました(創世記 3:4~5)
 悪が世の中にいっぱいになるようにさせました(創世記 6:4~5)
 偶像崇拜は他の神を拜んで仕えることです(出 20:3~5)
 古い蛇、すなわち悪魔とかサタンとか呼ばれて、全世界を惑わす者です(黙示 12:1~9)
- (2) かたちを作って拝んだり仕えたりしてはならないとおっしゃいました。かたちを作って拝んだり仕えたりすることは、悪霊と交わることだと言われました(Ⅰコリント 10:20)

3. 安息日の教訓を味わいましょう

- (1) 主が全地を創造されたあと、安息された日です
- (2) 信徒が安息して礼拝する日です
- (3) 聖日の意味を理解しなければなりません。聖日は、十字架にかかって死なれたイエス様が復活された日です(ヨハネ 20:1)

2月

15 / 日曜

小さいときから十分の一について
祈らなければなりません

申 14:22 ~ 29 | あなたが種を蒔いて、畑から得るすべての収穫の十分の一を必ず毎年ささげなければならない。主が御名を住ませるために選ぶ場所、あなたの神、主の前で、あなたの穀物や新しいぶどう酒や油の十分の一と、それに牛や羊の初子を食べなさい。あなたが、いつも、あなたの神、主を恐れることを学ぶために。(22 ~ 23)



1. 十分の一は神様のものです

- (1) アブラムが得たものの十分の一をメルキゼデクに与えました(創世記 14:20)
- (2) ヤコブは神様がくださったすべてのものの十分の一をささげると約束しました(創世記 28:22)
- (3) 十分の一はレビ人と祭司の持分です(民 18:21 ~ 32)
- (4) 最後の預言者に知らせました(マラキ 3:6 ~ 12)
十分の一をささげないのは、神様のものを盗むことです(マラキ 3:8 ~ 10)
十分の一をささげる者に天の窓を開き、あふれるばかりの祝福を注ぐかどうかをためしてみよとおっしゃいました(マラキ 3:10 ~ 12)

2. 今日の十分の一の意味を分かなければなりません

- (1) 教会の火を消さない使命なのです
- (2) 12人が集まれば1人は霊的な使命で、伝道と宣教をしなければなりません
- (3) これは永遠な使命です。未来に近づいてくる暗やみの経済に勝つ使命です

3. この世の経済の献金を家訓としましょう

- (1) 十分の一で教会を生きましょう
- (2) 建築献金で文化の祝福で、地域の文化を生きましょう
- (3) 宣教献金で世界の文化を生きましょう
- (4) RUTC献金で未来の文化を生きましょう

2月

22 / 日曜

福音の中で、従順にするとき
お起きることがあります

申 28:1~14 | もし、あなたが、あなたの神、主の御声によく聞き従い、私が、きょう、あなたに命じる主のすべての命令を守り行なうなら、あなたの神、主は、地のすべての国々の上にあなたを高くあげられよう。(1)



1. 何に従順にしなければならないのでしょうか

(1) 申命を伝えなければなりません

出エジプトの契約を伝えなければなりません(出 3:18)

荒野の奇跡を次世代に伝えなければなりません

カナンの入国とメシヤ(キリスト)の契約を伝えなければなりません

(2) みことばに従順にしなければなりません

十戒に入っている神様の愛と人間の愛の意味を知って従順にしなければなりません

幕屋中心に生きなければなりません

祭りの主人であるメシヤ(キリスト)を知って伝えなければなりません

2. 従順にするとき、このようなことが起きます

(1) すべての民族の上に高くあげられるでしょう(申 28:1)

(2) 町でも祝福され、野でも祝福されるでしょう(申 28:3)

(3) 子どもたちと財産も祝福されるようになります(申 28:4~5)

(4) はいるときも祝福され、出て行くときも祝福されるでしょう(申 28:6)

(5) 敵が七つの道に逃げ去るでしょう(申 28:7)

(6) 聖なる民として立ててください、すべての国々の民が恐れるでしょう(申 28:9~10)

(7) 先祖たちに誓った通り、時にかなって祝福していただき、困難があっても借りることはないとおっしゃいました。かしらとならせて、尾にはならせられないでしょう(申 28:11~13)

3. 聞き従わずに、他の神々について行けば失敗するしかありません

(1) のろわれるようになります(申 28:15~16)

(2) 破滅して、病気になるようになります(申 28:20~24)

(3) 世界のすべての国々で苦しめられるとおっしゃいました(申 28:25~68)

申命：次世代に律法をもう一度くりかえして語ること

申命記：旧約聖書の中で、モーセが書いたモーセ五書の最後の書で、モーセが死ぬ前に神様の契約と律法に仕えるようにと告げた内容を書いたもの